

施工店・販売店用
施工説明書

アルカリーチ

NDX-101LMW

アンダーシンク型アルカリイオン整水器

- この度はお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。施工前には、この『施工説明書』を必ずお読みのうえ正しく施工してください。
- この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障等が生じた場合は、当社は責任を負いかねますのでご注意ください。
- 同梱の『取扱説明書』は、必ずお客様にお渡しください。



このマークは注意または警告をお知らせしているものです。



このマークは禁止の内容を表しているものです。



このマークは使う方の行為を指示しているものです。

目次

部品の確認	2
施工のための条件	3
施工方法	4
施工後の作業	8
故障かなと思ったら	10
施工後の確認	11

●お問い合わせはオムコ事業部までご連絡ください。

オムコ事業部

0120-FreeDial 0120-065-417

総発売元

株式会社 OSGコーポレーション

〒530-0043 大阪市北区天満1丁目26番3号



本書の内容は平成12年5月現在のものです。

Printed in Japan

OSG

部品の確認

注意

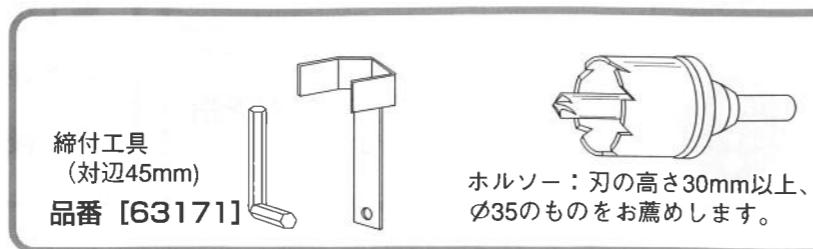
- 同梱されている部品とは別に購入しなければならない部品と専用工具があります。施工前に確認してください。
- 冬季、凍結の恐れのある場合は寒冷地仕様のバルブを購入の上、施工してください。

同梱部品

本体(NDX-101LMW)	名称	[品番]	数	部品図
	給水ホース 7982 ブレードフレキ13(900mm) [131852]	1		パッキン付き
	減圧弁1/2B RW-315B-S2.0K [115844]	1		
	止水栓片ナットチーズ(逆止弁付) [131860]	1		
	0134 19ミリストレーナー [151852]	1		
	0783 フレキパイプ用ニップル [112229]	1		
	ワイヤーバンドφ13 [107058]	2		
	ジャストフィットクランプ JFC-1 [131854]	1		
	アンダートレイAssy [131857]	1		
	試薬セット •pH(ペーハー)試薬×1 •Cl(塩素)試薬×1 •色別表×2 •5cc容器 [49908]	1		

※このカランはホース装着済です。 [131900]

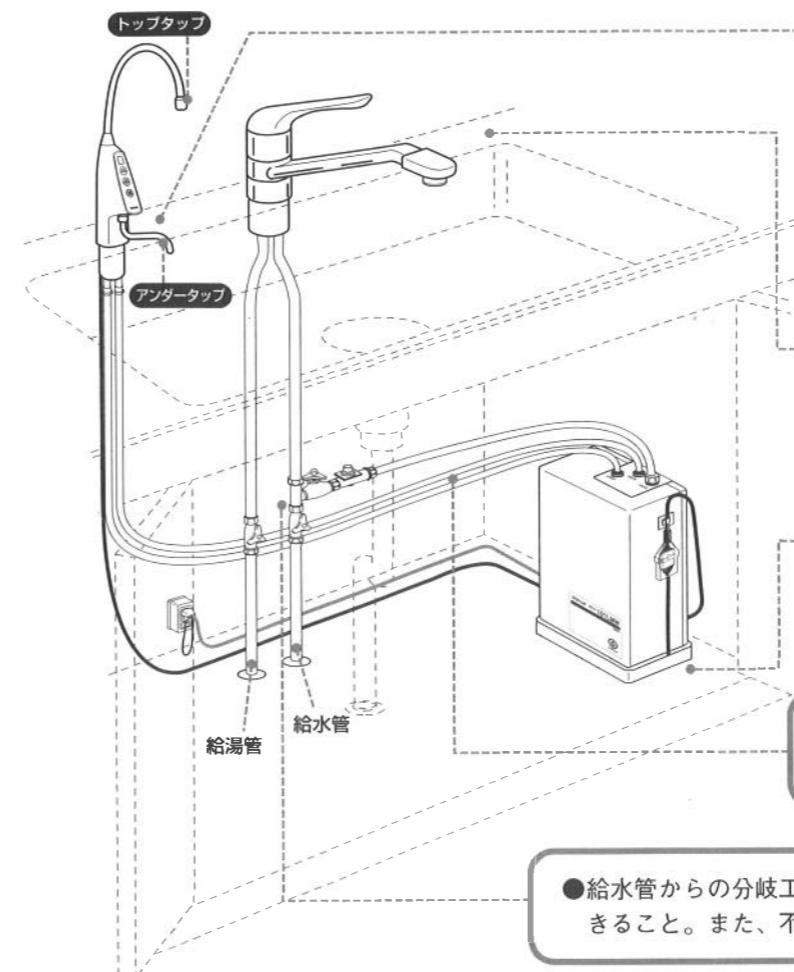
別途購入部品



専用工具

施工のための条件

施工例



●カウンターにカランの取付けスペースがあり、取付けの穴加工が可能であること。

●取付け穴径はφ35mmです。

●カウンターの穴加工のためには超硬ホルソー等が必要です。(ホルソーは刃の高さ30mm以上、直径φ35mmのものをお薦めします。)

●カランは本体1台に対して1本であること。

●天板の厚さが35mm以下であること。

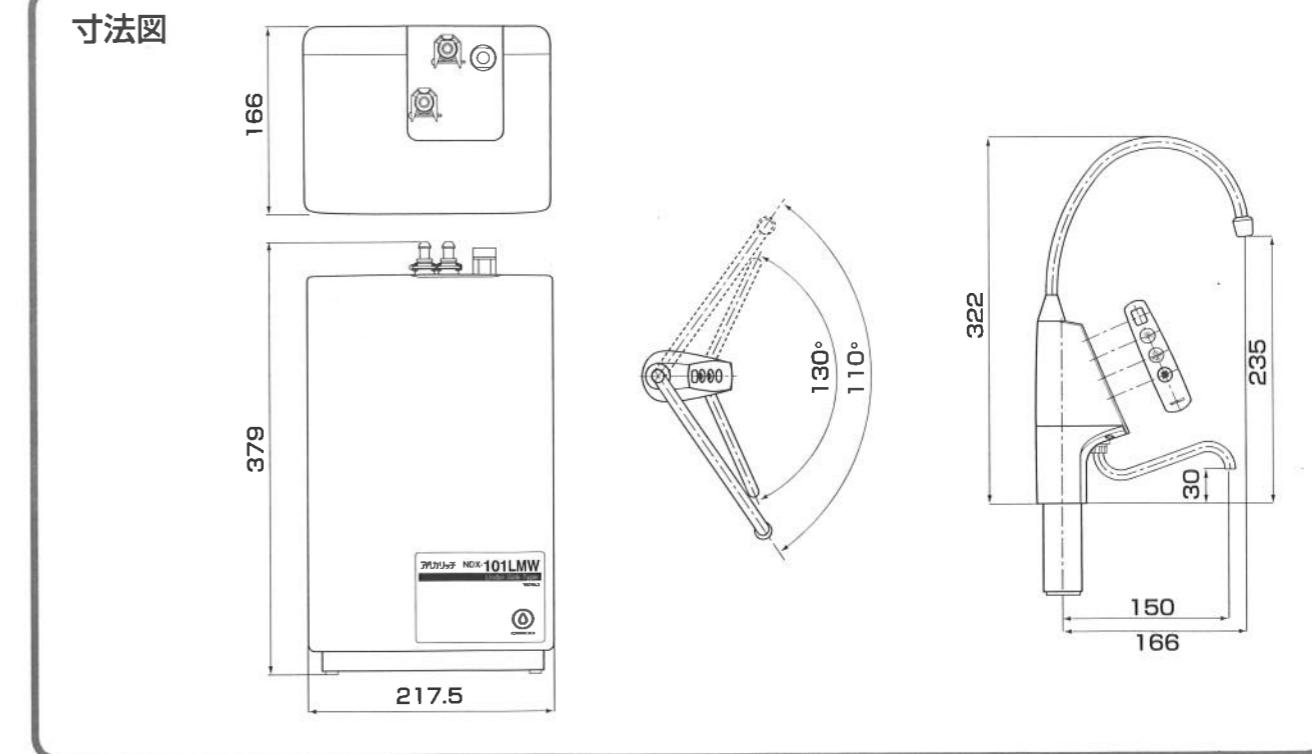
●本体を設置するスペースがフロアユニット内にあること。

●フロアユニット内にAC100Vコンセント設置工事及び第三種接地工事が可能であること。

●カランホースは、土中、床、壁等に埋設しないこと。

●給水管からの分岐工事が可能で、0.147MPa(1.5kgf/cm²)以上の水圧が確保できること。また、不可能な場合は新たに給水管を引き込めるこ

寸法図



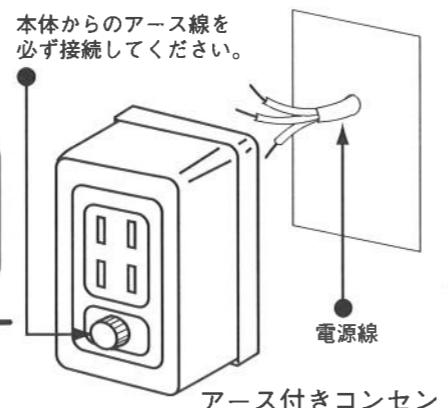
施工方法

▶手順1 電源線にコンセントを接続する

- アース付きコンセントを背板の貫通穴を塞ぐように固定してください。

※コンセントはお客様が抜き差し可能な位置に接続してください。

●電気工事
AC100Vコンセント工事
第三種接地工事



- 注意** ●水道工事・電気工事は専門の業者にご依頼ください。

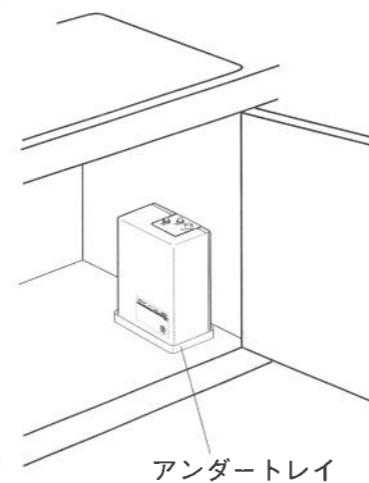
▶手順2 本体の設置位置を決める

- フロアユニット内に本体を設置してください。このときカランの取付け位置を考慮してから設置してください。

- 給水ホースの長さは900mm、アルカリ・サンホースは1000mmです。ホースの長さに注意して位置を決めてください。

- 本体の下にアンダートレイを置いてください。

- 注意** ●本体が水平な位置になるように設置してください。



▶手順3 専用カランの取付け

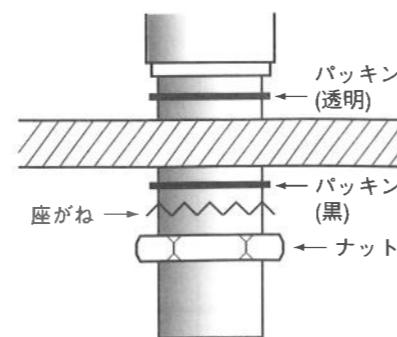
- 本体の設置位置、カランの取付け位置を決めた後、超硬ホルソー等でカランの取付け穴を開けてください。

- パッキン(透明)を付けたカラン本体を取り付け穴にホースと共に差し込んでください。

- カランの向きを決めてからパッキン(黒)、座がねを入れ、ナットで固定してください。

※トップタップ及びアンダータップの先端の可動範囲が必ずシンクから外れないようにカランを取付けてください。

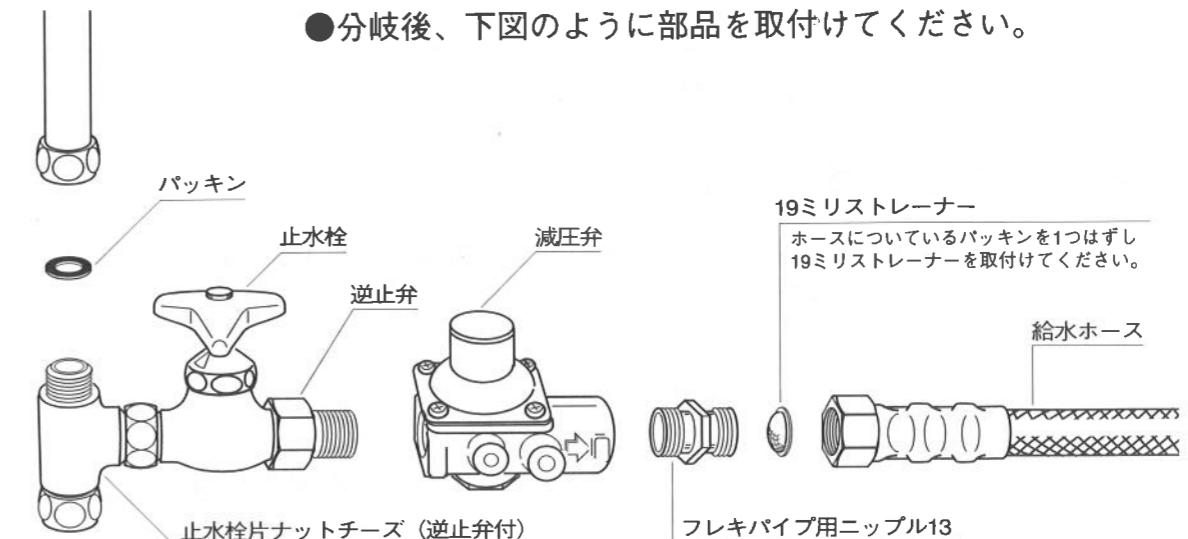
※ナットは専用の締付工具(対辺45mm)で締め付けてください。



▶手順4 給水配管

- 給水管に止水栓片ナットチーズを取付けて分岐してください。

- 分岐後、下図のように部品を取付けてください。



※減圧弁及び止水栓は必ず取付けて下さい。



※各接合部はシールテープ、パッキン等を用い、水漏れのないようにスパンナ等で確実に施工してください。

※ウォーターハンマー音が出ないように、しっかりと固定してください。

※止水栓の取付け場所は必ずお客様にお伝えください。

※逆止弁と減圧弁を接続する前に、逆止弁出口に「水受け」を設けて通水し、管路内のゴミや鉄クズを洗い流してください。

- 注意**

- 水圧の高低に関係なく減圧弁は必ず取付けてください。取付けないと水漏れ事故につながる恐れがあります。取付けないで生じた故障・事故等については当社は責任を負いかねます。

- 止水栓は必ず取付けてください。取付けないと水量調整ができません。



- 給湯管には絶対に配管しないでください。

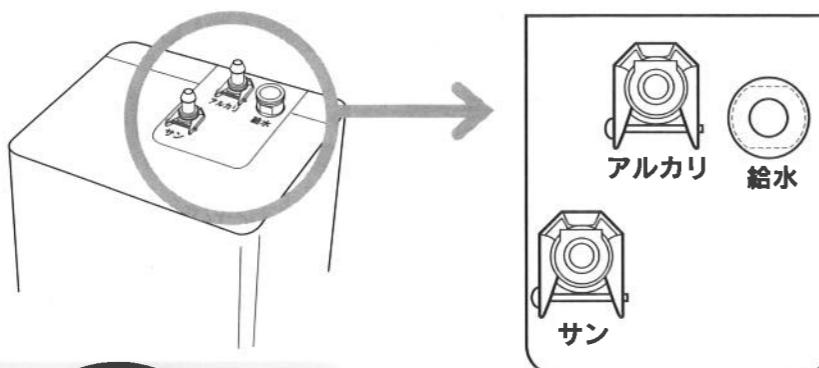
▶手順6 各ホース・コネクターの接続

⚠ 注意

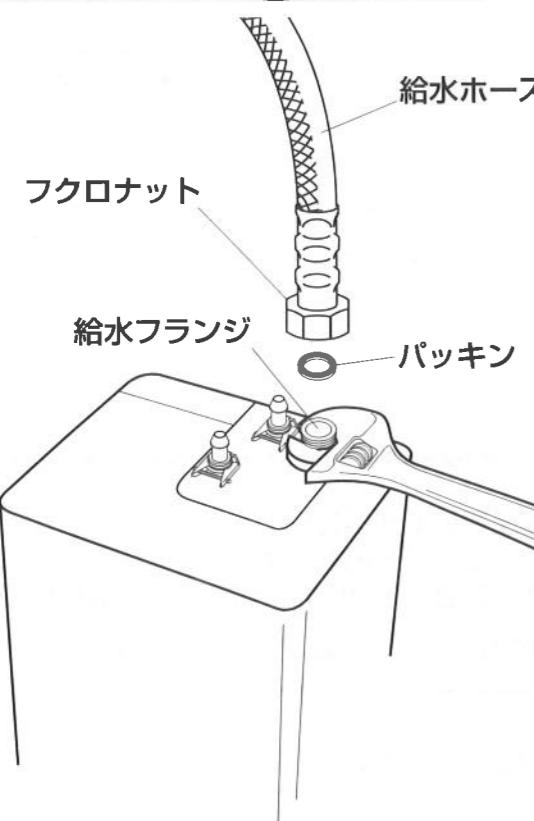
- 給水ホース接続の際、必ずパッキンの装着を確認してください。
- パッキンは、傷・ゴミ等がつかないように注意してください。
- アルカリ・サンホースはストレート管に差し込み、ワイヤーバンドφ13で確実に固定してください。

接続位置

- 本体接続部及び、ホースに貼ってあるシール（給水ホースにはシールがありません）に従い接続してください。



給水ホース ⇌ 本体

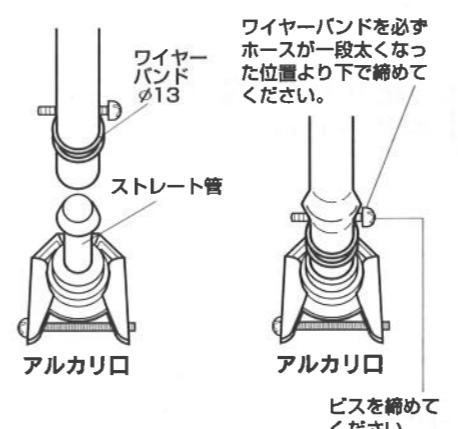


- 給水フランジの面取りしてある部分をスパナ等で固定しながら、フクロナットをもう1つのスパナ等で確実に締め付けてください。
給水フランジを固定しないで締め付けると本体が破損する恐れがあります。

※パッキンを忘れずに入れてください。

アルカリ・サンホース ⇌ 本体

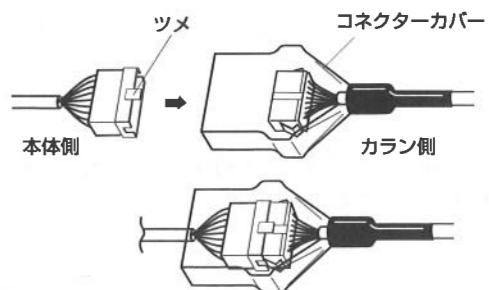
- 本体接続部及び、ホースに貼ってあるシールに従い接続して下さい。
- ホースにワイヤーバンドφ13を差し込んでください。
- 本体に取付けてあるストレート管にホースを差し込んでください。
- ワイヤーバンドφ13をホースが一段太くなった位置より下まで下げてビスを締め付け確実に固定してください。
- 施工が終了したら、この接続部から水漏れがないか確認してください。



※差し込んだホースを回転させたり、抜いたりした場合は、ホース内部が傷つき、水漏れが生じる恐れがありますので注意してください。
※アルカリ・サンホースの長さは1000mmです。カランと本体の位置が近く、そのまま接続するとホースが折れてしまう場合は、先端を適当な長さに切って接続してください。

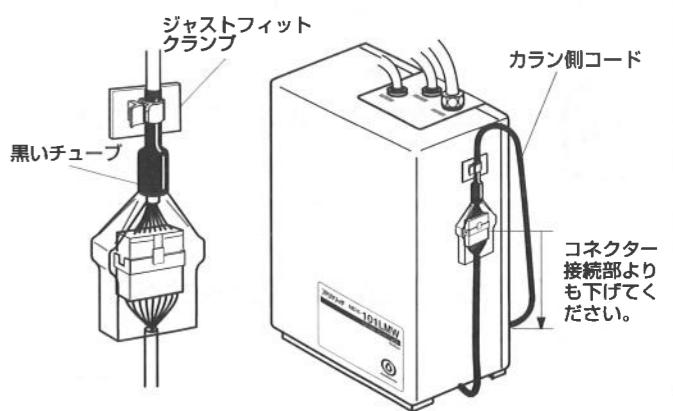
コネクターの接続

- カランコードの本体側とカラン側のコネクターを接続してください。
- 向きに注意し、ツメが確実にはまるように接続してください。



コネクターの固定

- カラン側コネクターの黒いチューブの細い部分をジャストフィットクランプではさみ込んでください。
- カランコードを軽く引っぱり、ジャストフィットクランプの粘着保護シートをはがし、側面もしくは背面に貼り付けてください。
- カラン側のコードを一度コネクター接続部よりも下げてください。



施工後の作業

吐水量の調整

- 止水栓を徐々に開け、配管の接合部に水漏れ、破損等がないか確認してください。
 - アース線をコンセントのアース端子に接続し、電源プラグをAC100Vコンセントに差し込んでください。
 - 止水栓を全開にし、電解調整ボタンで電解レベル（表示ランプ）を「0」にし、アルカリボタンを押して、2~3分間通水してください。
 - ホース接続部に水漏れがないか確認してください。
 - トップタップからの吐水量が約4秒でコップに一杯（200cc）になるように止水栓で調整してください。
 - 下記の「pHの測定」に従い、pHの測定を行ってください。

pHの測定

- 1** 電解調整ボタンで電解レベル（表示ランプ）を「3」にしてください。

2 アルカリボタンを押し、15秒程度通水させてください。

3 同梱の5cc容器をアルカリイオン水で数回すすぎ、右図の位置までアルカリイオン水を入れてください。

4 pH試薬（赤色）を一滴入れてください。
※1滴以外の場合は、正確なpHが測定できません。

5 アルカリ度色別表の色と見比べてください。

6 pHが9.0～10.0に入っていたら電解レベル「1」「2」でも同様に定し、電解されていることを確認してください。

7 電解調整ボタンだけでは調整しない場合は、9ページに従い、電モードの変更を行ってください。

pH	色	性質
4.0	赤	酸性
5.0	黄	中性
6.0	黄	中性
6.6	绿	弱碱性
7.0	绿	中性
7.5	蓝	弱碱性
8.5	蓝	碱性
9.0	青	碱性
9.5	青	碱性
10.0	青	碱性

*電解レベル「3」でpHが10.0以上になるような調整はしないでください。

電解モードの設定

■本器は電解調整ボタンによる3段階の電解レベルとは別にさらに弱電解、標準電解、中電解、強電解の4つのモードがあり計12段階の電解レベルを選ぶことができます。

■工場出荷時には標準モードになっています。電解調整ボタンだけでは調整しきれない場合は、下記に従い電解モードを変更してください。

变更手順

- 1 吐水をストップさせ、電解調整ボタンを5秒以上押し続けてください。
 - 2 「ピッピッピッピッ、ピロロ・ピロロ」という音と同時にアルカリランプが数回点滅したらボタンを離してください。
 - 3 電解調整ボタンを押すごとに、表示ランプが一つずつ変わります。設定モードは下記の通りです。

表示ランプ	1	2	3	4
モード	弱電解	標準電解	中電解	強電解

- 4** 希望のモードを選択したら、アルカリボタンを押してください。
「ピッピッピッ」 という音と同時にアルカリランプが数回 点滅 し、表示ランプが「0」になり設定終了です。

5 再び8ページに従い、pHの測定を行ってください。

※強電解モードをお使いの場合は、水質により15分以上連続ではご使用になれない場合があります。

※設定終了後、電源プラグを抜いても（停電でも）、電解モードは設定したものになっています。

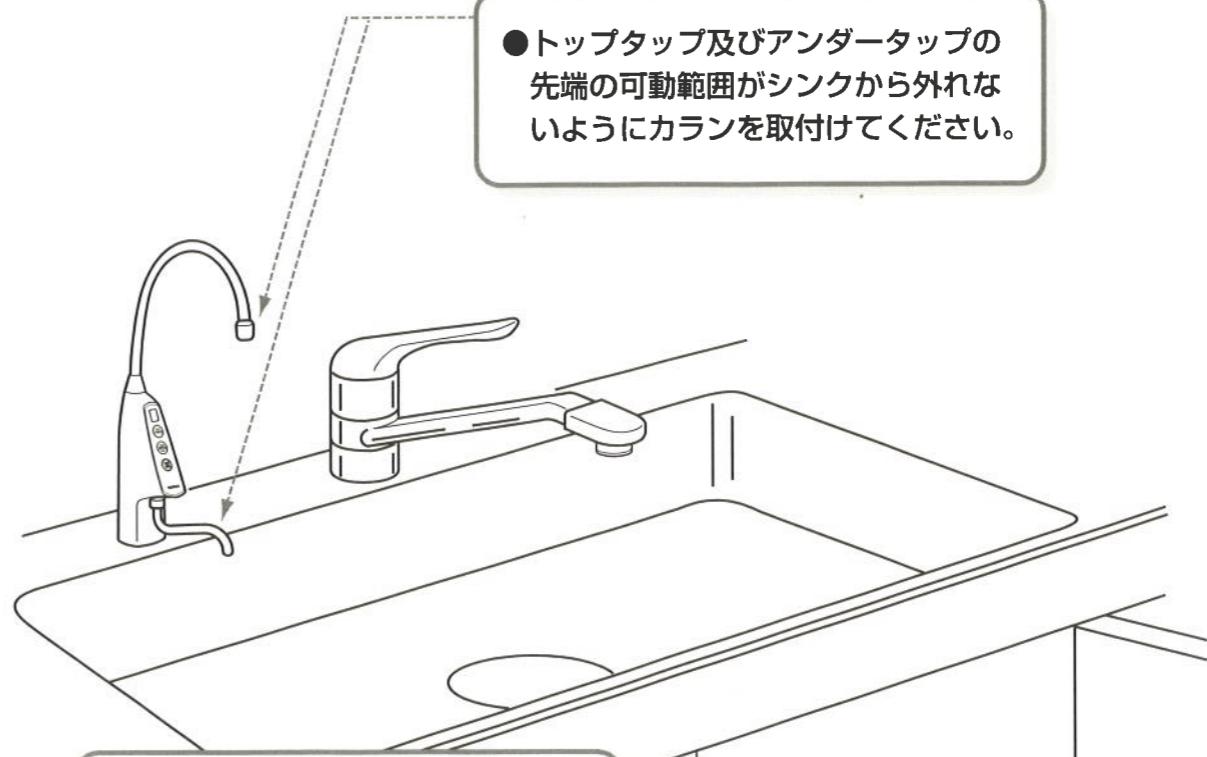
故障かなと思ったら

□ →カーリング交換

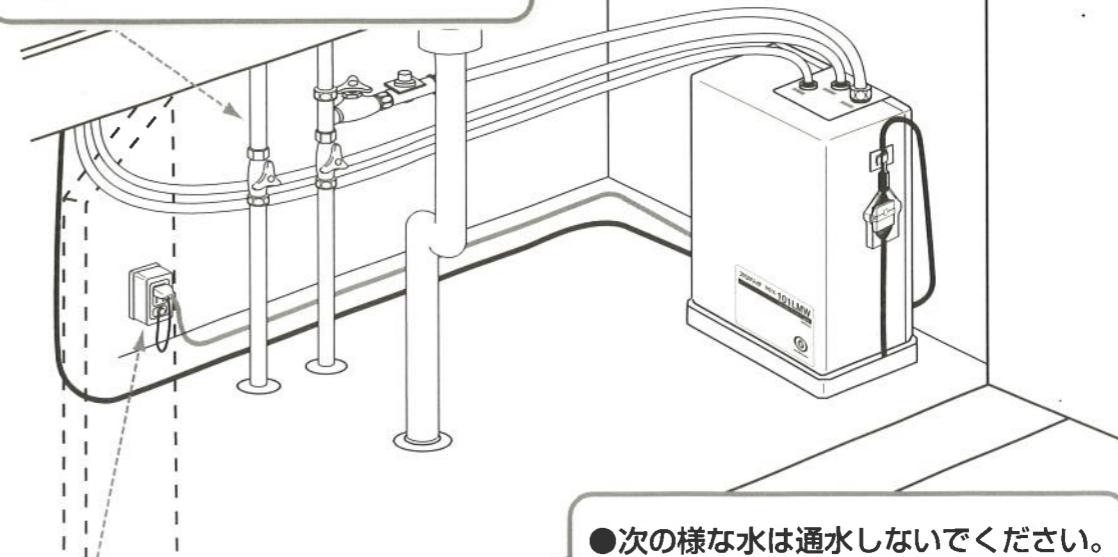
現象	確認	処置
 全てのランプが消えている。	電源プラグがきちんと接続されていますか。 本体とカランを結ぶコネクターがきちんと接続されていますか。 <small>(吐水中にコネクターが外れると水は出っぱなしになります)</small>	電源プラグを差し込んでください。 コネクターを接続してください。
 アルカリランプが点灯している。	電源プラグもコネクタも、きちんと接続されている場合はトランジスの温度が120°C以上になっています。	電源プラグを抜き、約30分放置後、電解モードを1つ下げてください。
 ブザー音 ピー	給水量が不足しています。	アルカリボタンを押してブザーを止め、アルカリ水と酸性水の吐水量が合わせて3ℓ/min以上になるように給水量を確保してください。
 表示ランプが「L」になり点滅している。	水漏れがあります。	電源プラグを抜き、止水栓を閉じてオムコ事業部までご連絡ください。
 表示ランプが「A」になり点滅している。	電解槽に7A以上の電流が流れています。	アルカリボタンを押してブザーを止め、電解モードを1つ下げてください。
 表示ランプが「P」になり点滅している。	電解槽内の温度が60°C以上になっています。	給湯管に給水ホースを接続していたら給水管に継ぎ直してください。
 表示ランプが「E」になり点滅している。	オムコ事業部までご連絡ください。	

施工後の確認

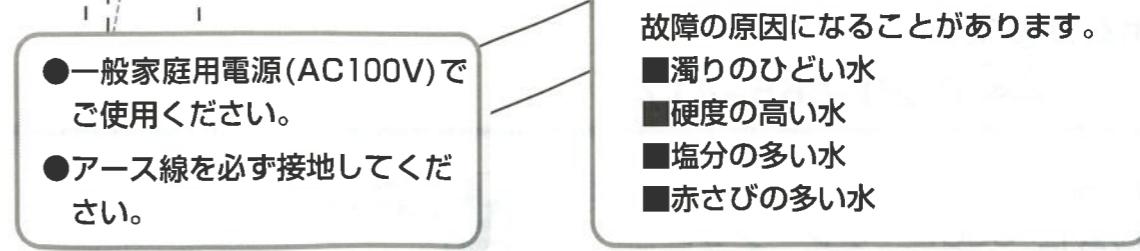
■取扱説明書・保証書・試薬セットは必ずお客様にお渡しください。



●トップタップ及びアンダータップの先端の可動範囲がシンクから外れないようにカランを取付けてください。



●給湯管には配管しないでください。



●次の様な水は通水しないでください。
故障の原因になることがあります。

- 濁りのひどい水
- 硬度の高い水
- 塩分の多い水
- 赤さびの多い水